

中国の高校生21名と交流

11月16日(金)に国が本年度から始めた「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環で中国の高校生ら約30人が本校を訪問しました。

生徒会執行部が中心になって歓迎会を企画し、交流しました。次に、いくつかのグループに分かれて授業に参加しました。放課後は、まず茶道部による作法の体験をしてからクラブ活動中の生徒と交流をしました。午後5時には日本の生活を体験することを目的にそれぞれホームステイ先へと向かいました。

翌日はホームステイ先から集まって、ステイ先の家族と一緒に写真を撮り、快晴のもとで次の目的地である富士山へと出発しました。

この交流をするにあたって僕たち執行委員会では様々な交流方法を検討しました。話し合った結果、最終的には折り紙作りをすることになりました。

当日は想像していたよりも和やかな雰囲気の中で、交流することができました。代表で僕が挨拶をすると、元気な声で返事が返ってきました。折り紙作りでは言葉の壁を越えて身振り手振りで自分たちの意志を伝えることができ、折り方を教えたり逆に教えてもらったりしました。お互いのメールアドレスを交換するなどとても楽しく交流することができました。

外国の人と触れ合うことは初めてだったのですが、思っていた以上にお互いの気持ちを理解することができました。是非またこのような交流をしてみたいと思いました。

生徒会長 宮下 貴史



生徒会のお迎え



最初は互いに緊張していました



教頭から記念品の説明



訪日団団長の挨拶



会長が英語であいさつ



校歌を披露しました



折り鶴を作って交流です



身振り手振りでコミュニケーション



高校生訪日団代表のあいさつ



中国語と日本語の歌の披露



書道の授業に参加し腕前披露



茶道部によるお手前の体験



バドミントン部の練習に参加



生徒会から千羽鶴と色紙の贈呈



ホームステイ先の家族と合流



それぞれの家庭へと向かいました



翌朝、家族と一緒に集合です



みんなで記念撮影



一泊だけといい思い出ができたようです



富士へと出発です